

訂正とおわび

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の個所に誤りがありました。おわびして訂正いたします(本誌のウェブ・ページで同様の内容を掲載しています)。 (編集部)

■ 2012年2月号

● 特集

p.73 図9のキャプション：USB込みの信号処理IC→USB機能を実装できる汎用デバイス(プロセッサ, FPGAなど)

p.74 左↓2行目：取り込み易い→取り込みたい

p.79 右↑14行目：図7→図7(b)

p.80 左↑14行目：ロジック→RAM

p.91 表4のキャプションを「オーディオ・クラス仕様のリクエスト・コード」に訂正

p.92 図4のキャプションを「オーディ

オ・クラス1.0におけるフィードバック・データのフォーマット」に訂正

p.99 表4(c)を意味の項目の下4マスを以下のように訂正

p.101 左↑3行目：LVDSドライバ→LVDS信号

右↓1-2行目：記述→インスタンス

p.102 図6中の「DATAR」から「IDLE」への矢印を追加

p.104 左↑5行目：少し(1024バイト)→半分と少し

p.107 図16中に以下のように①を追加

p.119 表2中の「標準的な」を削除

● ワンチップUSBホストIC Vinculum-II 試用レポート

p.164 リスト1のサブ・キャプションを「app_init関数の4行目の“hUART=vos_dev_open(VOS_DEV_UART_2);”の次行に下記を追加する」に修正

p.166 リスト2のサブ・キャプションを「firmware関数の8行目の“vos_dev_ioctl(hUSBHOST_FT232,&uart_iocb);”の次行に下記を追加する」に修正

● ありもで作るチョコっと便利回路コーナ

p.215 右↓5行目：0.5 A/1 A→0.5 A/1 V

広帯域転送モードではないので、ビット12とビット11は '00'

パソコンからのボーリング周期を指定するが、ここではオーディオ・データ・エンドポイント・ディスクリプタと同じ値を設定する

パソコンに対してどのくらいのレートで新しい同期フィードバック・データを供給できるか、そのレートをms単位で 2^k の k の値で指定する。本ファームウェアでは $k=5$ として32ms周期としている

必ず '0' を指定

